

# 上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）の同意書

## 【方法・手順】

**経鼻・内視鏡検査** モニターを観ながら検査を受けたい方、検査後に予定がある方に  
おすすめてです。口から入らないので検査中に会話ができます。

- ①胃の中の泡をなくすため消泡剤を飲んでもらいます。
- ②鼻腔を拡げるために左右の鼻に 局所血管収縮剤をスプレーをします。
- ③通りのいい鼻腔を決めて鼻の麻酔をし、確認のために細く短いチューブを通します。
- ④ゆっくり鼻腔を通し検査スタートです。

**鎮静剤を使用した経口・内視鏡検査** 初めて受けるため不安のある方、以前つらい思  
いをした方にすすめてです。寝ている間に検査が終わり、その後はリカバリールームで  
30分くらい休んで帰宅となります。

- ①鎮静剤を使用するため点滴を入れます。
- ②胃の中の泡をなくすため消泡剤を飲んでもらいます。
- ③のどの麻酔します。
- ④鎮静剤を注射して検査スタートです。

## 【注意事項】

- ・ 鎮静剤を希望の方は当日の乗り物の運転は絶対に禁止です。
- ・ 普段飲んでいる薬は内服して下さい（お薬手帳などありましたらご持参ください）。
- ・ 食事については以下のようにお願いします。

	午前AMの検査の方	午後PMの検査の方
前日の食事	夜9時以降はなし	夜9時以降はなし
検査日の朝食	なし（水はOKです）	通常の1/2としてください
検査日の昼食	—	なし（水はOKです）

## 【偶発症】（日本消化器内視鏡学会より報告）

前処置では0.0028%（うち死亡例は0.00005%）、観察のみの検査では0.014%（う  
ち死亡例は0.00013%）と報告されてます。前処置の偶発症で最も多かったのは鎮静関連  
で内容は呼吸抑制でした。検査中の偶発症で最も多かったのは出血で、経鼻内視鏡では鼻  
出血（0.01%）でした。このような偶発症を避けるために細心の注意を払って施行しま  
すが、万一偶発症が生じた場合は最善の対処をさせていただきます。ただし、やむを得  
ず入院や手術などの処置が必要になった場合の医療費は患者様のご負担になりますのでご  
了承下さい。

## 【希望の検査方法】（希望する検査に○をつけて下さい。）

経鼻 ・ 経口（鎮静剤あり） 検査日 年 月 日（ ）：

説明年月日 年 月 日 記入年月日 年 月 日  
説明医師 (自筆) 本人 (自筆)